



幼馴染の

お姉ちゃんが

我が家の

メイド

になったら

ご奉仕してくれた



成人向けCG集

基本CG11枚 本編240枚



千石 真白 (せんごく ましろ)

166cm

94/58/93 (Gカップ)

祐馬の二つ年上の優しい幼馴染。

両親が失踪して祐馬の両親に
生活の援助をしてもらうようになり、
そのお礼に住み込みのメイドに。

祐馬のことは小さい頃から知っていて、
実の弟のように思っています。

エッチなご奉仕を始めてからは、
祐馬におっぱいをいじられるのが大好きに♡
遠慮なしに激しくおち●ち●で
おま●こをジュボジュボ突かれるのも大好き♡



ゆうま
祐馬くん…祐馬くん…

ねえ、起きて…

んん…

朝、聞き慣れた声で目を覚ます。

まぶた
瞼越しに朝日を感じながら
ゆっくりと目を開けた。

あ、起きた

ふふっ

おはよう

祐馬くん



目を開けると俺の家、

いちじょう

一条家で雇っている

住み込みのメイドがいた。

彼女はこうして毎朝俺を
起こしに来てくれる。

うちに来て
一カ月以上経つのに…

未だに慣れないな…

彼女のことは雇う前から知っていて
十数年以上の付き合いなのだが、
現状の関係にまだ慣れていない。



せんごくましろ
千石真白

うちで住み込みで働いているメイドで
俺の二つ年上の幼馴染でもある。

俺の家は国内で誰もが知る
大企業を経営している。

彼女の父親の会社は取引先の一つで、
また俺の父親と学生時代の友人でもある
昔から家族ぐるみで親しくしていた。

だが、彼女の父親は最近事業に失敗し、
多額の借金を背負うことになってしまふ。

すると真白ねえを残して
彼女の両親は失踪してしまったのだ。

そのことを知った俺の両親は
困り果てていた真白ねえに
当分の生活の援助を申し出たのだが…

祐馬くん？

どうしたの？

ぼおとしちゃって？

まだ眠い？

…いや、真白ねえが
メイドしてるのに慣れなくってさ

父さんや母さんも言ってたけど
そんなことしなくていいんだよ？

ううん
お世話になってるんだから
これぐらいしないと！

それにメイドさんに
興味はあったから
むしろすごく楽しいよ！



メ
両親は無償で援助するつもりだったが、
それでは申し訳ないと
真白ねえは言い出した。

そして好きな少女漫画の影響で
どこからかメイド服を調達してきて、
うちで働きだしたのだ。

元々通いの家政婦はいるのだが、
両親は多忙で家を空けることが多いので
真白ねえがいてくれるなら安心だと
住み込みで働いてくれることを喜んだ。

また真白ねえは現役の学生で
頭が良くて、俺の勉強を見てくれる
我が家のというより俺専属の
メイドのようになっていた。

ふふふっ

それに…

さすがに昔と比べて
いろいろと成長してて…

ごうべたべたされると…

真白ねえのおっぱいが…

おっさん、



祐馬くん？

おーい
まだ眠いのかな？

でもこれ以上ゆっくしてたら
学校に遅刻しちゃうし…

そうだ！
私が着替えさせてあげようか？



えっ

い、いやっ

ちゃんと自分で

着替えるから大丈夫だよ！

ほら、着替えるから
真白ねえは出てって

はい

メ

それじゃあ私は朝ごはんの
お手伝いをしてくるから

ちゃんと着替えて来るんだよ

う、うんっ

ががが

…ふーっ

バレて…ないよな？

真白ねえのおっぱいで
勃起してたなんて…絶対に
気付かれないようにしないと

真白ねえに幻滅されたくないし…

…はあ、一度抜かないと
治まりそうにないや

はあ…

んん
んん

最近のオナニーのオカズは
ほとんど真白ねえだ。

実の姉と思っっている相手を
オカズにすることに罪悪感はあるが、
無意識に押しつけてくる
あのおっぱいの感触を思い出しでしまう。

それに俺は姉としてだけでなく、
いつからか一人の女性としても
真白ねえのことが好きだった。

そんな人に
あんなことをされたら……っ！

真白ねえのおっぱい……
生で見たい……触ってみたい……

って、何を考えてんだっ！

コスコス

おっぱい
おっぱい

しこり

しこり

しこり
しこり

真白ねえに幻滅されたくない
その一心で自分の欲望を抑えた。

だけど俺の我慢は
限界に近付いていた……

コ
ン
コ
ン

真白ねえ
起きてる？

ちよつと学校の課題で
わからないことがあつて
見てもらいたいんだけど…

うん、いらよ
入ってー

部屋に入ると真白ねえがベッドの上で
気怠けたるそうに自分の肩を揉もんでいらた。

真白ねえどうしたの？

ガチャ

うーん…
ちよつと肩が凝こつちやつて…

さっきまで勉強してたからかな

そうなんだ…

それなら…

肩揉んであげよっか？

えー悪いよ
それに祐馬くんの
学校の課題が…

学校の課題は後でもいいよ

遠慮しないで
いつも勉強とか
見てくれるお礼だと思ってさ

真白ねえの背後に回るので
肩を揉み始める。

うん、
任せて！

それじゃあ頼もうかな

うーん…



んっ…あぁ、はうっ…

祐馬くんっ
気持ち、いいよお…んんう

んあっ、ひやあ…

もみもみ

真白ねえ…
声がエロいよ…

真白ねえの回から漏れ出る声が
ヒロくでもららむららと聞こえます。

ムムムム

なんだか良い匂いがするし…

ここからだとなまねえの
おっぱいがよく見える

真白ねえの…おっぱい…

ムムム

真白ねえの声と匂いに頭がぼおっとして、俺の目はおっぴいに釘付けになっていた。

そしていつの間にか肩から手を離してしまおう。

祐馬くん？





ひゃあっ!?

おにゃん

おにゃん

っ!?

しまったっ
つい…おっぱいを…

もみもみ

おっぱい

早く謝つて、おっぱいから手を離さないと…
そう思ったが、手を離すことはできなかつた。

柔らかくて…温かくて…
気持ち良い…

おっぱいってこんな感じなんだ…

ゆ、祐馬くん……？

そこは……肩じゃないよっ

むっ
むっ

ビクッ

おっぱいは……んう……
凝って、ないからあ……

もみ
もみ

怒ったり、手を払いのけたりしない真白ねえ。

そんな優しい真白ねえだから
俺はおっぱいを揉み続けてしまう。

おっぱい

服の上でも
こんなに柔らかいんだから……

おっぱい

生で揉んだらどうなんだろう……

……怒られたら、やめよう……うん

おっぱい



Blizz

A!

むす

真白ねえの生おっぱい……!

すごいっ
指がおっぱいに埋もれる

もみもみ

ぷんぷん

もみもみ

おっぱい

おっぱい

おっぱい

服を着ていても
大きいのはわかってたけど……

生だと一段と大きく感じる

んんん
ツ
祐馬くん…

そう、だよね…
祐馬くんも男の子だもん

女の子の身体に
興味があつて当然だよね…

真白ねえ…??

特別、だよ…

祐馬くんが満足するまで
おっぱい好きにしていよいよ

私は祐馬くんのお姉ちゃんだし…

今は…メイドでもあるから…
メイドは御主人様のために
尽くさないといけないから

ま、真白ねえ…
ほ、本当に好きにしてらなの？

う、うん…
でも優しくしてね

わ、わかってるよ

んんんんん

じゃあ…
こんなふうにいじっても…



んんんっ！

ち、乳首っ!?

好きにしているって
言ったけどお…

ぽろぽろっ

はあ



おっぱいは柔らかいけど…
乳首はちよつと硬いんだね

ぽろぽろっ

はあ

んあああ……♡

はあ♡

真白ねえ……
乳首いじられて感じてるの？

♡♡
♡♡

はあ♡

はあはあ

そ、そんなこと……

はあ♡

もみもみ

でも肩を揉んだ時より
気持ち良さそうだよ？

むにゅ♡

肩を揉んでいた時の
真白ねえもエロかったが、
乳首をいじりだしてからの
真白ねえはそれ以上にエロかった。

はあ

声だけじゃなくて
顔もすごいエロい

ゴク
ゴク

すり
すり

おは

んんん

もも
もも

なんだか乳首は
だんだん硬くなってるし...

まるでチ●ポみたいだ

真白ねえ…
もっと気持ち良くしてあげるね

あん♡

そんなに乳首…
強く摘ままれたら…っ！

あははは

もみもみ

んんん

ああん♡

おっぱい…熱い…

あははは

あはは

祐馬くんにいじられて
なんだか…身体が変…だよお

真白ねえ…
おっぱいいじられて
感じてるんだ…

はあ

あん

たろん

もみもみ

どんどんHロくなってる…

うう…おっぱいを触るだけじゃ
我慢できない…!

んん

むにゅ

もみもみ

はあ

あのさ、真白ねえ

はあ……♡

な、何？

真白ねえに
お願いがあるんだ

はあ……♡

お願い……？
う、うん

祐馬くんのお願いなら
私……何でもしてあげるよ

…じゃあさ

俺のチ●ポ…
気持ち良くしてくれない？

…え？

祐馬くんのおち●ち●を…
気持ち良く？

キーン

…うん

真白ねえはメイドだから
御主人様には
尽くしてくれるんだよね？

お願い…真白ねえ

…

…わかった

祐馬くんのおち●ち●
気持ち良くしてあげるね…

…!



ズボンと下着を下ろすと
既に勃起していたチ○ポが
勢いよく飛び出した。



真白ねえはおっかなびっくりと叫んだ
様子だった。だが優しく手で包み込んでくれた。



初めて…ではないよ

小さい頃にお父さんや
祐馬くんと一緒にお風呂
入った時とか見てるし…

でも、ふにゃふにゃしてて
こんな感じじゃなかったよ

…真白ねえ
彼氏はいないの？

ドキ

い、いないよ…
これまでも一度も
付き合ったことないし…

だからこんなことするの
初めてだよ

痛かったら言っでね？

あははは
あははは

すりっ

う、うん…

えっと…手で擦ればいいんだよね

ぎこちなくて
ちよっともどかしいけど……

真白ねえが俺の子●ポを
シゴいてくれてるだけで興奮する

それに誰とも
付き合ったことないって……

初めて触れる子●ポが
俺のって考えると
余計に興奮する！

あっ
なんだかお汁が出てきたよ？

これっておしっことか…
その…精液じゃ、ないよね？

これは我慢汁だよ…
気持ち良かったり
興奮したりすると出るんだ

へえ…そうなんだ

しゅわ
しゅわ
しゅわ

しゅわ
しゅわ
しゅわ

ふふっ

どんなふうにしたらいいかわからなかったから最初は不安だったけど…

ちゃんとおち●ち●を気持ち良くできてよかった

ぬちゅん

ぬちゅん

しゅん

しゅん

しゅん

うあ…真白ねえっ

もっともっと気持ち良くなってもらえるように頑張るね

真白ねえの手の動きが加速する。

我慢汁が潤滑油になって
ぬるぬるとチ○ポをシゴかれ、
気を抜いたらさすがにイキそうだった。

ま、真白ねえ…
気持ち良いよ…

そのまま続けて…

ぬちゅっ
ぬちゅっ

ぬちゅっ

ぬちゅっ

祐馬くんのそんな顔…
初めて見た…嬉しそう

それにおち●ち●
最初よりも大きくなってるよ？

これも気持ち良いからかな？



うん…真白ねえの手…
すごく気持ち良いっ

はあはあ

こんなの初めてだよ
もっともっとミゴロシ…

それからチ●ポの
いろんなところ触ってっ

しゅわ

はあはあ

はあはあ

ぷぷぷっ

祐馬くんがそんなに必死になって
お願いしてくるの…久し振りだね

小さい頃はそんなふう
一緒に遊んでっつて…
お願いしてきたよね

ぬちゅん
ぬちゅん
ぬちゅん

んんん
しゅん
しゅん

んんん

んんん

いいよ
お姉ちゃんは祐馬くんの
メイドだから何でもしてあげる

真白ねえ…
もう…出ちゃうよ…

出るって…
精液が出そうってことか…

我慢しないで…
たくさん出して…

あーっ っひひっ っひひっ っひひっ

あーっ

あーっ

あーっ

っっっ

っっっ

っっっ

っっっ





ぬちゅん

ぬちゅん

しゅん

ぬちゅん

ぬちゅん

ぬちゅん

ぬちゅん

しゅん

しゅん

ぬちゅん

ちゅん

ちゅん

ちゅん

ちゅん

ぬちゅん

ぬちゅん



こ、これが射精なんだね

たくさん出してって言ったけど...

16#

16#

びゅん
びゅん
びゅん

お
お
お
お
お

まさか...こんなに出るなんて...

保健の教科書には
そこまで詳しく載ってないから
びっくりしちゃった...

それに…感触と匂いも…

ドロツとして…不思議な匂いだね

良い匂いってわけじゃないけど
嫌な匂いってわけでもなくて…

ずっと…嗅いでいたくなる匂い…

んんっ



はあ
はあ

俺の精液で
真白ねえがドロドロに……

真白ねえが自分の精液で汚れ、
そして興味深そうに精液の感触や匂いを
確認する姿に、射精して落ち着いてきた
性欲が再び昂ってしまふ。

ムニラ
ムニラ

あのさ、真白ねえ……

今度はおっぱいを舐めてくれない？



おっぱいって？

ストロベリー

うんしょ…
こんな感じでいいの？

そ、そう…
そのままおっぱいで
チ●ポをシゴいて…

おっぱい

この続きは、本編でお楽しみください！！